



株式
会社

ミヤモト家具社内報 2025.6 Vol.5

ミヤモト家具ホールディングス
公式Instagram



社内の面白い取り組みを発信しています！

自社ブランドRENSEY 2号店として… 初のエディションストアが名古屋にオープン！



RENSEY



社長戦略室の村岸です。ついに、6/21(土)RENSEY初のエディションストアとして「RENSEY 名古屋」がオープンしました！運営いただくのは、創業77年の歴史を誇る名古屋を代表する家具専門店 大矢家具さんです！！1年7ヶ月の開発期間を経て、2021年11月12日金澤本店から始まったRENSEYは今後、この名古屋を筆頭に福島、横浜、愛知、広島と続々オープン予定です！開発期間に至っては、最初のデザインとなったダイニングテーブルRDT-01の試作から始まり、検証・改善を繰り返しながら幾度となく、図面も修正する等少しずつではありますが、常に歩みを止めることなく製品のラインナップを増やし続けてきました。1つのブランドを作り上げる為、少しずつ地道

に進んでいく道のりは、当然容易な事ではなく…社長は当時を振り返り「やっと藤井社長に…若きし頃の恩返しができる」その想いだけが、「自分の心を前へと突き動かす原動力だった」と話します。「未来は絶対に明るい！！」と信じてやってきたその険しい道のりの中…ついに一つの目標であった2号店をオープンする事が叶いました。日本を代表する国産家具ブランドを目指し、ついに歴史的な第1歩を踏み出したRENSEY。コンセプトの異なる自社ブランド「AF」「SOLID」とともに、お客様に愛されるブランドを目指して、今後も挑戦を続けていきます！

社長が語る！プロダクト側だから出来る 知られざる、拘りの「製品開発秘話」とは？

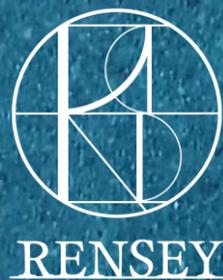


2019年の4月、RENSEY製品の第1号として【RDT-01】の開発が始まりました。これまでのアカセさんには無い新しいモノを作るというチャレンジでMASTERWALとは真逆のフォルムを狙い、北欧と日本らしさの融合を目指しました。一番苦労した部分は、一歩間違えると野暮ったさが出てしまう曲線の形状・削り出しと、脚部とのバランスです。そのデザインバランスに、何よりも拘ったのが01のダイニングでした。また、これはどの製品にも言えることなのですが、同等品質の国産家具と比べて、社員の皆がお客様に「どこよりも安いです！」と自信を持って言える価格の実現にも拘りました。そして…そのRDT-01は、販売から2年間で…なんと！2023年・2024年の販売数量第1位を獲得！ミヤモト家具を代表するダイニングテーブルになりました。今では、多くのお客様に愛され続けています。思い出深い製品が、こうやって花開く瞬間を目の当たりに出来ることもまた楽しみの一つです。



いつかは全国の各地域に根付き、
地域の方々から愛されるブランドへ。

金沢を拠点に、全国にRENSEYという清く美しい花を咲かせたいという想いを込めて。
この度、ミヤモト家具とAKASEの共同開発によるオリジナルブランド、
「RENSEY」をリリースさせていただきます。



Scandinavian Japanese

「RENSEY」が目指したもの。
それは、洋家具でありながらも、
何処か日本的な要素も取り入れながら、
女性的な優しいフォルムと、気品高く、凜としているような落ち着きのある上品な家具に仕上げることでした。無垢材家具としての力強さも持ち合わせながら、ハードになりすぎず、また職人の技が主張しすぎるようなデザインであってはならない。家具としての佇まいやプロポーション、ディテールに至るまで、これまで弊社が歩んできた20年の経験と目一杯の拘りをこのシリーズに込めました。

「蓮(レン)」には、蓮の花言葉でもある「清らかな心」をイメージしました。この花言葉は、はすが泥水の中から生まれ、時間をかけて水辺に浮かんだ時に、気高く、清らかな花を咲かせることに由来していると言われています。「晟(セイ)」には、「明るく光り輝く」という意味があり、その二つの言葉の意味を繋ぎ合わせ、名づけられたオリジナル家具が「蓮晟(レンセイ)」です。



蓮
晟